



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月10日

上場取引所 大

上場会社名 新日本理化学株式会社

コード番号 4406 URL <http://www.nj-chem.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 藤本 万太郎

問合せ先責任者 (役職名) 財務本部長兼経理部長

(氏名) 石野 淳

TEL 06-6202-6598

四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	14,607	2.3	394	64.4	486	47.6	402	143.0
23年3月期第2四半期	14,278	16.9	239	—	329	—	165	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 329百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △333百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	10.79	—
23年3月期第2四半期	4.44	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	31,594	12,359	37.1	314.31
23年3月期	32,189	12,040	35.5	306.03

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 11,721百万円 23年3月期 11,412百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,800	8.4	1,070	145.7	1,220	115.6	1,010	46.8	27.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P4「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	38,008,906 株	23年3月期	38,008,906 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	716,495 株	23年3月期	716,264 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	37,292,605 株	23年3月期2Q	37,293,098 株
----------	--------------	----------	--------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、サプライチェーンの復旧や企業マインドの改善により、東日本大震災の落ち込みから、着実に持ち直しつつありますが、円高の長期化や海外景気減速など景気の下振れ懸念があり、先行きが不透明な状況で推移いたしました。

化学業界におきましても、石油化学原料の相場が、不安定な動きを見せたほか、天然油脂原料も供給不足の懸念が続くなど、厳しい環境が続きました。

このような環境のなか、当社グループにおきましては、製品価格の適正化や製造原価の低減に加え、諸経費の削減に全社を挙げて取り組み、収益確保に努めてまいりました。

しかしながら、当第2四半期より国内需要が低迷したため、販売数量が減少に転じたほか、円高の進行が輸出採算の悪化をもたらし、損益面では不十分な結果となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は146億7百万円（前年同四半期比2.3%増）、営業利益3億9千4百万円（前年同四半期比64.4%増）、経常利益4億8千6百万円（前年同四半期比47.6%増）、四半期純利益4億2百万円（前年同四半期比143.0%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## 油脂製品セグメント

脂肪酸、グリセリン等の油脂製品は、震災による需要減により、一部脂肪酸の販売数量が大きく減少しましたが、販売価格の改定に努めましたため、売上高は増加いたしました。

アルコール製品は、トイレタリー分野における国内需要の不振などにより、販売数量は前年を下回りました。しかしながら、原料価格高騰に伴い販売価格の是正をいたしましたため、売上高は増加いたしました。

以上の結果、油脂製品セグメントの当第2四半期連結累計期間の売上高は58億8千1百万円（前年同四半期比18.3%増）となりました。

## 石化製品セグメント

化成品部門は、可塑剤が被災地復興の遅れから販売先において、過剰な製品在庫を保有する状況が続いたほか、輸入品も流入したため、販売数量、売上高ともに前年を下回りました。

機能製品部門は、自動車関連が回復傾向にありましたものの、電機関連の需要が減少しましたことから国内の販売数量は微減となりました。しかし、輸出は欧州向けに好調に推移したため、販売数量、売上高ともに増加いたしました。

樹脂添加剤は、被災した販売先の稼働再開に時間を要したほか、損益面では前期に引き続き、円高の進行により採算が悪化しました。

以上の結果、石化製品セグメントの当第2四半期連結累計期間の売上高は75億6百万円（前年同四半期比8.6%減）となりました。

## その他セグメント

その他セグメントにおきましては、主力の防錆剤・水溶性切削油等の売上高は前年を下回りましたが、その他、商社部門が順調に推移したため、売上高は増加いたしました。

以上の結果、その他セグメントの当第2四半期連結累計期間の売上高は12億1千8百万円（前年同四半期比11.7%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間の総資産は、前年度末比 $\Delta$ 1.9%、金額で5億9千5百万円減少の315億9千4百万円となりました。

流動資産につきましては、棚卸資産が増加したものの、現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少などにより前年度末比 $\Delta$ 1.9%、金額で3億9百万円減少の161億5千8百万円となりました。固定資産につきましては、有形固定資産の減価償却などにより前年度末比 $\Delta$ 1.8%、金額で2億8千5百万円減少の154億3千5百万円となりました。

流動負債につきましては、支払手形及び買掛金が減少したものの、借入金が増加したことなどにより前年度末比+1.0%、金額で9千7百万円増加の102億3千3百万円となりました。固定負債につきましては、長期借入金の減少などにより前年度末比 $\Delta$ 10.1%、金額で10億1千2百万円減少の90億1百万円となりました。

純資産につきましては、四半期純利益を計上したことなどにより前年度末比+2.7%、金額で3億1千9百万円増加の123億5千9百万円となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は37.1%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月12日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、従来、有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却方法は主として定率法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

当社グループにおいては、前連結会計年度に堺工場で酸無水物の大型製造設備が稼働いたしました。また、中期経営計画に基づき、今後大規模な設備投資を計画しております。これらの設備から生産される製品については、今後安定的な受注のもと、概ね一定の販売数量であることが見込まれており、また、主要な設備について急激な技術的・経済的な陳腐化がほとんどなく、生産設備は耐用年数にわたって安定的に利用されるものと見込まれております。従って、生産設備全般につき耐用年数にわたり均等に費用配分を行うことが、生産設備投資の実態をより適切に反映できるものと判断し、従来の償却方法を見直し、定額法を採用することにいたしました。

この結果、従来の方法によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間の減価償却費が196百万円減少し、営業利益が172百万円増加し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ174百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,910	1,604
受取手形及び売掛金	10,059	9,413
商品及び製品	1,842	2,016
仕掛品	1,402	1,698
原材料及び貯蔵品	1,066	1,282
その他	190	145
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	16,468	16,158
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,526	3,526
その他(純額)	5,440	5,264
有形固定資産合計	8,967	8,790
無形固定資産	177	170
投資その他の資産		
投資有価証券	6,128	6,074
その他	452	403
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	6,576	6,473
固定資産合計	15,721	15,435
資産合計	32,189	31,594

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,570	5,126
短期借入金	1,465	1,948
1年内返済予定の長期借入金	1,624	1,708
1年内償還予定の社債	37	37
未払法人税等	86	66
賞与引当金	243	239
その他	1,106	1,105
流動負債合計	10,135	10,233
固定負債		
社債	390	371
長期借入金	5,693	4,809
退職給付引当金	1,985	1,970
役員退職慰労引当金	40	43
負ののれん	462	403
その他	1,441	1,404
固定負債合計	10,013	9,001
負債合計	20,149	19,234
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,660	5,660
資本剰余金	4,246	4,246
利益剰余金	1,976	2,378
自己株式	△168	△168
株主資本合計	11,715	12,117
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	567	454
繰延ヘッジ損益	△19	△9
為替換算調整勘定	△851	△840
その他の包括利益累計額合計	△302	△396
少数株主持分	628	638
純資産合計	12,040	12,359
負債純資産合計	32,189	31,594



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	14,278	14,607
売上原価	11,969	12,125
売上総利益	2,309	2,481
販売費及び一般管理費	2,070	2,087
営業利益	239	394
営業外収益		
受取配当金	62	66
負ののれん償却額	59	59
持分法による投資利益	91	85
その他	26	22
営業外収益合計	239	233
営業外費用		
支払利息	98	84
その他	51	56
営業外費用合計	149	141
経常利益	329	486
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	—	5
その他	0	—
特別利益合計	0	5
特別損失		
固定資産除却損	40	16
投資有価証券評価損	41	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	15	—
その他	0	—
特別損失合計	98	16
税金等調整前四半期純利益	231	475
法人税、住民税及び事業税	42	45
法人税等調整額	7	7
法人税等合計	49	53
少数株主損益調整前四半期純利益	182	422
少数株主利益	17	20
四半期純利益	165	402

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	182	422
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△435	△113
繰延ヘッジ損益	△14	9
為替換算調整勘定	0	△8
持分法適用会社に対する持分相当額	△66	19
その他の包括利益合計	△516	△93
四半期包括利益	△333	329
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△350	308
少数株主に係る四半期包括利益	17	20

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	231	475
減価償却費	678	474
負ののれん償却額	△59	△59
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	15	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	70	△3
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	10	△15
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△10	3
受取利息及び受取配当金	△65	△68
支払利息	98	84
持分法による投資損益 (△は益)	△91	△85
固定資産除却損	40	16
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△5
投資有価証券評価損益 (△は益)	41	—
売上債権の増減額 (△は増加)	1	645
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△258	△684
仕入債務の増減額 (△は減少)	130	△444
その他	△230	129
小計	603	461
利息及び配当金の受取額	89	69
利息の支払額	△94	△84
法人税等の支払額	△26	△63
営業活動によるキャッシュ・フロー	572	383
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△58	△40
有形固定資産の取得による支出	△192	△203
投資有価証券の取得による支出	△0	△54
投資有価証券の売却による収入	—	15
貸付けによる支出	△4	△8
貸付金の回収による収入	19	18
その他	△113	△30
投資活動によるキャッシュ・フロー	△349	△303

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	4,649	6,590
短期借入金の返済による支出	△5,586	△6,107
長期借入れによる収入	2,100	—
長期借入金の返済による支出	△1,330	△800
社債の償還による支出	△14	△18
配当金の支払額	△0	—
少数株主への配当金の支払額	△2	△9
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△55	△62
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△240	△409
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5	△8
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△23	△338
現金及び現金同等物の期首残高	1,829	1,728
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	128	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,934	1,390

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	油脂製品	石化製品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,970	8,216	13,187	1,091	14,278	—	14,278
セグメント間の内部 売上高又は振替高	156	467	623	129	752	△752	—
計	5,127	8,683	13,811	1,220	15,031	△752	14,278
セグメント利益又は 損失(△)	△21	240	218	22	241	△2	239

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、化学製品の仕入販売事業及び保険代理事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△2百万円は、セグメント間取引の消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	油脂製品	石化製品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,881	7,506	13,388	1,218	14,607	—	14,607
セグメント間の内部 売上高又は振替高	241	488	730	135	865	△865	—
計	6,123	7,995	14,118	1,354	15,472	△865	14,607
セグメント利益	243	130	374	19	393	0	394

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、業務用洗剤、油剤の製造販売事業、化学製品ほかの仕入販売事業及び保険代理事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額0百万円は、セグメント間取引の消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントの変更等に関する事項

「2. サマリー情報(その他)に関する事項」の「(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」に記載のとおり、当社及び国内連結子会社は、従来、有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却方法は主として定率法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この変更により、従来の方によった場合と比べ、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益が「油脂製品」は30百万円、「石化製品」は141百万円、「その他」は0百万円それぞれ増加しております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。